

# 資格証の活用方法



景観コンクリート舗装の分野は、「**材料品質**」、「**使用量**」、「**技術力**」が三位一体となっており、その一つでも欠けてしまうと良い作品を造り上げることはできません。この中で一番重要な要素である「技術力」は、認定登録施工店様が日々積み上げられてきたものです。その証としての「資格証」をうまく活用し、他社との差別化につなげましょう。



資格証 = 安心感 



首かけタイプ



クリップ止めタイプ

首にかけたり、クリップで止めて使用して下さい。



打合せ時など、自己紹介をするときには**必ず提示し、**

**「景観舗装の『施工技術者』の〇〇です。」**

**「景観舗装の『監理技術者』の〇〇です。」**

と名乗るようにしましょう。

また、打合せ時に「自分の会社には、資格を持っている監理技術者が〇名、施工技術者が〇名おり、責任を持って施工させていただきますので、安心してお任せください。」と言うことで、さらなる安心感を与えられます。

※作業の方の方は施工中は財布等に保管し、いつでも提示できるように管理しておきましょう。

## ＜ツールとして他社との差別化＞

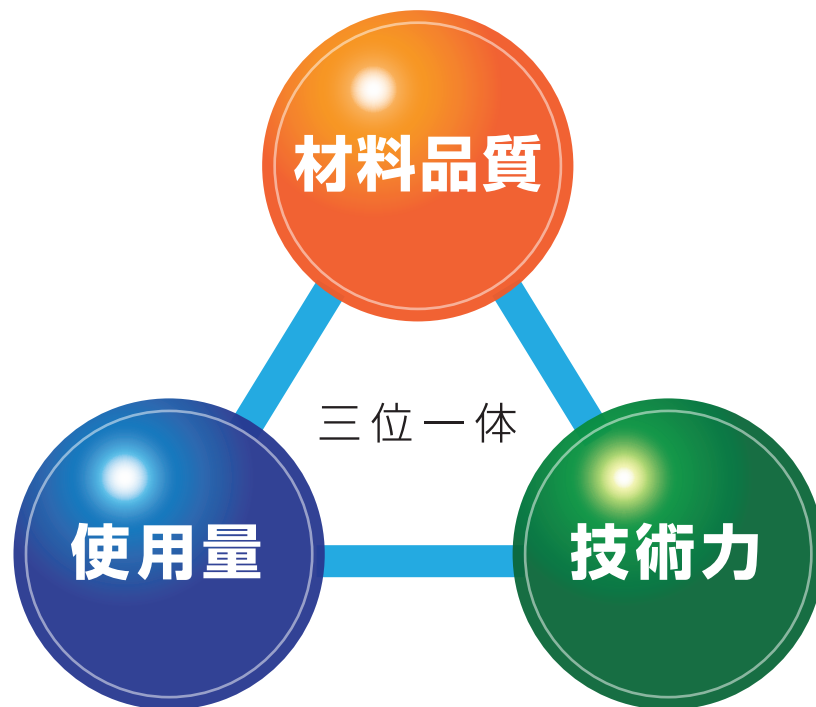
他社との競合状態にある場合は、特に資格が有効になります。

景観舗装の分野はまだまだ一般的な分野ではありません。エンドユーザー様、元請け業者様が求めているものは「丁寧な施工」、「きれいな施工」、「イメージ通りの施工」が主ではないでしょうか。そこで、同じような施工業者があった場合に、「差」となって現れるのは「**資格**」なのです。

ですので、**見積書**等の書類を提出するときは、「**施工技術者資格証を有した者3名が担当します。**」もしくは、「**監理技術者資格証を有した者が管理します。**」等の記載を必ずするようにしましょう。

## 三位一体の「マットスタンプ」,「マットカバー」

---



マットスタンプ、マットカバーは、「**技術力**」、「**品質**」、「**使用量**」が三位一体となっており、その一つでも欠けてしまうと良い作品を造り上げることはできません。

**材料品質** … 「マットスタンプ」、「マットカバー」において**材料、モールド等の品質**は非常に重要な要素です。例え技術力、経験があっても、粗悪な材料、モールドを使用している場合は、良い作品、耐久性のある作品を残すことはできません。品質に関しては、MATがメーカーとして高品質にこだわり、安定した供給を心掛けるとともに、常に品質の向上に取り組んでいくことをお約束します。

**使用量** … **材料の使用量を守る**ことも非常に重要な要素です。材料費を抑えるために、基準値を下回る量しか使用しなかった場合には、劣化が早まる等の障害が必ず発生します。基準の使用量を確実に守るようにして下さい。使用量に関しては、MATで基準となる数値を決めておりますが、認定登録施工店様とも協議し、今後も最適な基準を追及していきます。

**技術力** … この三つの中で、一番重要なのが「**技術力**」です。「技術力」を身につけなければ良い作品を生み出すことは出来ません。数多くの経験を積み、厳しい状況下においても完成度の高い施工をしなければいけません。一つ一つの現場を「作品」として捉え、細部にこだわることで、徐々に「技術力」がついてきますので、認定登録施工店様は日々ブラッシュアップしていただきたいと思っております。MATではメーカーとしてそのお手伝いをさせていただきますので、お気軽に声をかけてください。